

新興国レポート

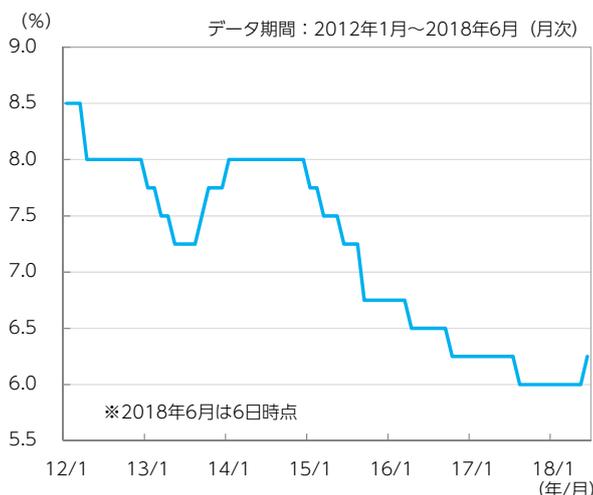
インド0.25%利上げ モディ政権下では初

景気加速やインフレ圧力の高まりが背景

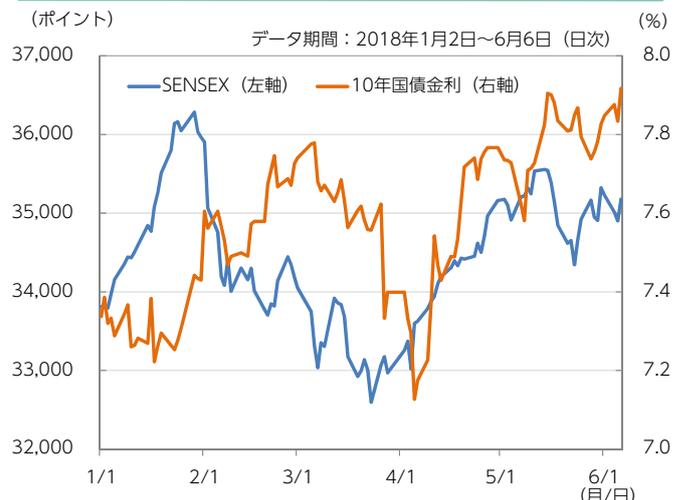
- ✓ インド準備銀行（RBI）は政策金利を0.25%引き上げ。利上げは4年5ヵ月ぶり。
- ✓ RBIのパテル総裁は、原油価格の高騰等を背景とする今後の物価上昇への警戒感を示す。今後の経済指標等を受けてインフレ圧力の強まりが意識される場合、次回8月の会合で追加利上げが行われる可能性も。

- インド準備銀行（RBI）は6月6日、政策金利を0.25%引き上げて6.25%にすることを決定し、即日実施しました。利上げを行うのは2014年1月以来4年5ヵ月ぶり、モディ政権下では初の利上げとなります。金融政策委員会メンバー6人全員が0.25%の利上げを支持しました。
- インドでは経済回復や需要の約8割を輸入に頼る原油価格の上昇等を背景に、徐々にインフレ圧力が高まっています。4月の消費者物価（CPI）（前年同月比）は4.6%上昇し、RBIが目標とする物価目標（2～6%）の中央値4%を6ヵ月連続で上回ると共に、上昇率は前月より0.3ポイント高まりました。景気も加速しつつあります。インド統計局が5月31日に発表した2018年1～3月期の実質GDP（国内総生産）成長率（前年同期比）は7.7%増と、2016年4～6月期の8.1%増以来約7四半期ぶりの大きさとなりました。2016年11月の高額紙幣廃止や2017年7月のGST（財・サービス税）導入に絡む混乱で一時同6%を下回った経済成長が再び加速し始めたことが確認されました。RBIのパテル総裁は同日の記者会見で、今後の物価上昇への警戒感を示すと共に、経済についてはモディ政権が取り組む不良債権処理で経営不振企業の整理・再生が進めば、更なる民間投資の拡大が期待できるとの見通しを明らかにしました。今回の利上げ決定の背景には、利上げで景気が腰折れするリスクが後退しているとのRBIの判断があるように思われます。RBIは景気回復に自信を深めているようです。
- 金利据え置きとの見方も多かったこと等から、利上げ決定日当日のインド10年国債金利は一時約3年ぶりとなる水準まで上昇（価格下落）しました。インド株式（SENSEX指数）は金利上昇による利鞘改善期待で国営銀行株が買われたこと等から上昇し、2日ぶりに35,000ポイント台を回復しました。
- 今回の利上げ決定を受け、今後のRBIの金融政策は引き締め気味になるとの見方が増える可能性があります。CPIが一段と上昇する等インフレ圧力の強まりを示す指標が増加する場合には、次回8月の会合でも利上げが実施されることも想定されます。追加利上げ観測を織り込む格好で、金利の上昇が今後も続く可能性があります。インド株式市場にとっては、景気拡大による企業業績の上方修正期待が支援材料となる一方、金利上昇が重荷となりそうです。

図表1：インド政策金利



図表2：SENSEX指数及びインド10年国債金利



出所) 図表1はCEIC、図表2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>